

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【公開番号】特開2016-63545(P2016-63545A)

【公開日】平成28年4月25日(2016.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-025

【出願番号】特願2015-184528(P2015-184528)

【国際特許分類】

H 04 W 72/12 (2009.01)

H 04 W 28/14 (2009.01)

【F I】

H 04 W 72/12

H 04 W 28/14

【誤訳訂正書】

【提出日】平成31年2月8日(2019.2.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0039

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0039】

ステップ1330において、UEは、UEが使用することが可能であったSAに関連する現有の、または、残りのリソースの数量に基づいて、スケジューリング要求を送信するか、または、データに関連するBSRをトリガーするかどうかを決定する。好ましくは、UEは、データに関連するBSRをトリガーしない。あるいは、好ましくは、UEは、データに関連するBSRをトリガーする。しかし、UEは、基地局(BS)に、トリガーされたBSRに関連するスケジューリング要求(SR)を送信しない。任意の状況において、残りのリソースは、残りのすべてのバッファされたデータを運ぶのに十分なので、最終のUE動作はSRを送信しない。トリガーされたBSRはSRをトリガーしてもよいので、その後、トリガーされたBSRを送信するためのULグラン트を要求するために、トリガーされたSRを送信することはないということが予測される。一般的には、高優先データ到達、または、空状態から非空状態、または、ある別の特定の状況から利用可能なデータのために、BSRがトリガーされるとき、UEは、BSRによりトリガーされたSRを送信して、ULグラントを要求する必要があり、且つ、UEは、ULグラントを用いて、BSRを送信する。しかし、この特殊な状況では、何も発生しない。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0046

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0046】

ステップ1440において、UEは、UEが使用することが可能であったSAに関連する残りのリソースの数量に基づいて、第二スケジューリング要求を送信するか、または、データに関連するBSRをトリガーするかを判断する。好ましくは、UEは、データに関連するBSRをトリガーしない。あるいは、好ましくは、UEは、データに関連するBSRをトリガーする。しかし、SAに関連する残りのリソースの数量はデータを収容できて、BSR解除を生じるので、UEは、基地局に、トリガーされたBSRに関連する第二S

Rを送信しない。任意の状況において、残りのリソースは、残りのすべてのバッファされたデータを運ぶのに十分なので、最終のUE動作はSRを送信しない。トリガーされたBSRはSRをトリガーしてもよいので、トリガーされたBSRを送信するためのULグラントを要求するために、トリガーされたSRを送信することはないということが予測される。一般的には、高優先データ到達、または、空状態から非空状態、または、ある別の特定の状況から利用可能なデータのために、BSRがトリガーされるとき、UEは、BSRによりトリガーされたSRを送信して、ULグラントを要求する必要があり、且つ、UEは、ULグラントを用いて、BSRを送信する。しかし、この特殊な状況では、何も発生しない。

#### 【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0052

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0052】

ステップ1530において、UEは、データに関連するBSRをトリガーする。ステップ1535において、SAに関連する残りのリソースの数量はデータを収容できるので、UEはBSRをキャンセルする。ステップ1540において、UEは、第三タイミングで、残りのリソースによりデータを送信し、ここで、第三タイミングは第二タイミングより遅い。任意の状況において、残りのリソースは、残りのすべてのバッファされたデータを運ぶのに十分なので、最終のUE動作はSRを送信しない。トリガーされたBSRはSRをトリガーするので、たった今トリガーされたBSRを取り消すことが予測される。その後、もちろん、どのSRもトリガーしない。ステップ1530と1535を参照すると、BSRがトリガーされ、その後、取り消され、UEは、実際には、(たとえば、ここで、意図的に何もしないといったように)いずれかのBSRを送信するためのULグラントを要求するいかなるSRも送信しないであろうということが記述されている。一般的には、高優先データ到達、または、空状態から非空状態、または、ある別の特定の状況から利用可能なデータのために、BSRがトリガーされるとき、UEは、BSRによりトリガーされたSRを送信して、ULグラントを要求する必要があり、且つ、UEは、ULグラントを用いて、BSRを送信する。しかし、この特殊な状況では、何も発生しない。

#### 【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0053

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0053】

好ましくは、UEは、UEが使用することが可能であったSAに関連する現有の、または、残りのリソースの数量に基づいて、第二スケジューリング要求を送信するか、または、データに関連するBSRをトリガーするかどうかを決定する。あるいは、または、追加として、好ましくは、UEは、データに関連するBSRをトリガーしない。別の方法として、あるいは、または、追加として、好ましくは、UEは、データに関連するBSRをトリガーする。しかし、SAに関連する残りのリソースの数量はデータを収容でき、BSR解除を生じるので、UEは、基地局に、トリガーされたBSRに関連する第二SRを送信しない。残りのリソースは、残りのすべてのバッファされたデータを運ぶのに十分なので、任意の状況において、最終のUE動作はSRを送信しない。トリガーされたBSRはSRをトリガーしてもよいので、トリガーされたBSRを送信するためのULグラントを要求するために、トリガーされたSRを送信することはないということが予測される。一般的には、高優先データ到達、または、空状態から非空状態、または、ある別の特定の状況

から利用可能なデータのために、BSRがトリガーされるとき、UEは、BSRによりトリガーされたSRを送信して、ULグラン트を要求する必要があり、且つ、UEは、ULグラントを用いて、BSRを送信する。しかし、この特殊な状況では、何も発生しない。